

みずほCustomer Desk Report 2019/08/19 号(As of 2019/08/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.15
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	106.09	1.1111	117.88	1.2092	0.6773
SYD-NY High	106.49	1.1112	118.17	1.2175	0.6795
SYD-NY Low	106.03	1.1066	117.59	1.2079	0.6771
NY 5:00 PM	106.38	1.1091	117.95	1.2146	0.6778
NY DOW	25,886.01	306.62	日本2年債	-0.2800	0.00bp
NASDAQ	7,895.99	129.38	日本10年債	-0.2400	0.00bp
S&P	2,888.68	41.08	米国2年債	1.4845	1.31bp
日経平均	20,418.81	13.16	米国5年債	1.4226	2.70bp
TOPIX	1,485.29	1.44	米国10年債	1.5615	6.15bp
シカゴ日経先物	20,570	250	独10年債	-0.6865	2.80bp
ロンドンFT	7,117.15	50.14	英10年債	0.4620	5.70bp
DAX	11,562.74	150.07	豪10年債	0.8750	▲0.75bp
ハンセン指数	25,734.22	238.76	USDJPY 1M Vol	7.86	▲0.49%
上海総合	2,823.82	8.03	USDJPY 3M Vol	7.95	▲0.36%
NY金	1,523.60	▲7.60	USDJPY 6M Vol	7.67	▲0.24%
WTI	54.87	0.40	USDJPY 1M 25RR	-1.63	Yen Call Over
CRB指数	170.41	0.37	EURJPY 3M Vol	8.48	▲0.28%
ドルインデックス	98.14	▲0.00	EURJPY 6M Vol	8.21	▲0.20%

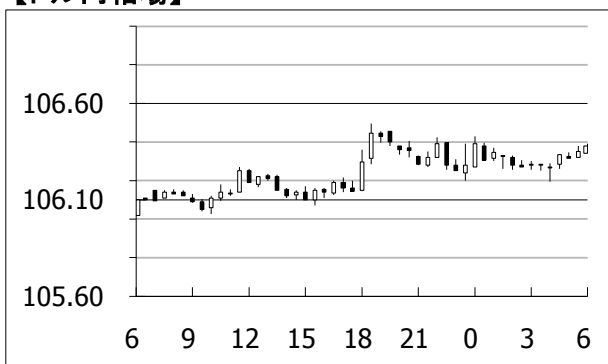
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	21:30	米 住宅着工件数	7月 1191k	1256k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	7月 -4.0%	0.2%
	21:30	米 建設許可件数	7月 1336k	1270k
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	7月 8.4%	3.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 92.1	97

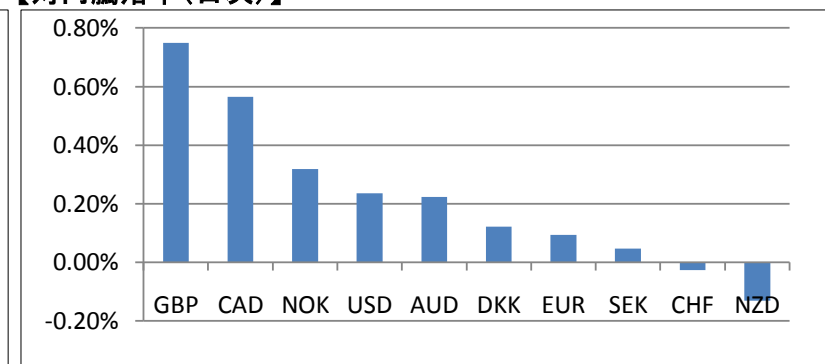
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	08:50	日 貿易収支	7月 -¥194.5b	¥589.6b
	18:00	欧 コアCPI・確報	7月 0.9%	0.9%
	18:00	欧 CPI(前月比)	7月 -0.4%	0.2%
	18:00	欧 CPI(前年比)・確報	7月 1.1%	1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-106.80	1.1050-1.1150	117.50-118.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は米長期金利が上昇したことを受けて106.49円まで上昇。その後は米経済指標が強弱入り混じる結果となったことで動意薄の展開となり、106円台前半での小幅なレンジでの推移となった。本日のドル円は動意に欠ける展開を予想する。今週後半にはFOMC議事要旨の公表とパウエルFRB議長の講演が予定されていることや本日は重要な米経済指標の発表が予定されていないことから様子見相場となろう。

アジア
東京時間のドル円は106.09レベルでスタート。朝方、北朝鮮が日本海に向けて飛翔体2発を発射との報道の他、新発10年物国債利回りが2016年7月以来の低水準となるマイナ0.25%まで低下するも、ドル円は106円台前半で動意薄の推移に終始し、反応は限定的。結局106.15レベルでロンドンへ渡った。(東京15:30)

ロンドン
ロンドン市場のドル円は、106.15レベルでオープン。昨日の米金利低下水準から持ち直したことを受けてドル円は106.49まで上昇。その後、米中協議日程は未定であり米中貿易問題懸念は払拭されていないことや来週23日のパウエル米FRB議長講演を控え、ドル円の上値は重く、106.28レベルでNYに渡った。ポントドルは、1.2110レベルでオープン。英野党が挙国一致内閣樹立を構想し合意なきEU離脱回避を模索する動きを受けて1.2170まで買われる。ポントドルは一時1.217付近まで上昇した後は勢い続かず、緩やかに1.2108まで下落。1.2167レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 川田)

ニューヨーク
海外市場のドル円は、106.10近辺でのみみ合いでスタート。欧州時間に入ると、米長期金利の上昇にサポートされ、一時106.49まで上昇し、106.28でNYオープン。朝方は米7月住宅着工件数が予想を上回り、米7月建設許可件数が予想を下回り、強弱まちまちの結果となったことから、ドル円は106.30近辺で小幅に振幅。その後、10時発表の米8月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を下回り、106.20まで下落するが、米株が堅調に推移する中、更なる下値追いは限定的だった。対ユーロのドル買いがドル円にも波及し、高値106.49をつけ、その後、米金利の1.53%台への低下に再度106.20をつける場面もあったが、週末を控え、方向感の無い推移となり、結局、106.38レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、手掛かり材料が乏しい中、1.1100近辺で小動き。欧州時間に米金利上昇を背景にドル買いが進み、1.1073まで下落し、1.1081レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.1066までじりじりと下落。その後、一部独紙が「ドイツが景気後退に入った場合、同国は均衡予算廃止を示唆」との報道が伝わると、ユーロの買いが先行し、一時1.1107まで上昇。買い一巡後、1.1100手前の狭いレンジで小動きとなり、結局、1.1091レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田家・小笠原